

令和 4 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり						
施策 No.	13	施策名	学校教育の充実						
主管課名	教育総務課								
関係課名	学校給食センター・こども課・健康センター・建設課・生活環境課								
10年後の目指す姿	教育活動が充実するとともに教育環境が整備されています。								
施策の現状及び課題	現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒の意欲的な学習への取組や、互いを尊重し合う豊かな心の育成に向けて、様々な教育活動に取り組んでいます。</li> <li>児童生徒が安全・安心な学校で学ぶことができるように教育環境の整備に取り組んでいます。</li> </ul>							
	課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援員やALT等の人材の充実、ICTを活用した教育やふるさと教育の推進を通して、児童生徒の学力向上及び豊かな心の育成を図る必要があります。</li> <li>ICT機器を含めた学校施設の適切な維持管理、通学時の安全確保に向けて取り組む必要があります。</li> </ul>							
施策を進めるための役割分担	行 政	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒が意欲的に学習に取り組むための教育活動の充実に取り組めます。</li> <li>自己肯定感を身に付け、命を尊び、他者を思いやり支え合う心を育成します。</li> <li>安全で健康な生活及び望ましい食生活など、健康的な生活習慣を形成する環境を整備します。</li> <li>児童生徒が安全で安心して学習できる環境を整備します。</li> </ul>							
	市 民 ・ 事 業 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの基本的な生活習慣（早寝・早起き、食事のマナー、あいさつなど）や家庭学習の習慣が身に付くよう努めます。</li> <li>学校教育に対する理解を深め、学校との協力・連携に努めます。</li> <li>民間の事業所が連携、協力し、児童生徒のプログラミング教育推進の支援に努めます。</li> </ul>							
目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	確かな学力を育む教育の推進							
	基本事業②	豊かな心を育む教育の推進							
	基本事業③	健やかな体を育む教育の推進							
	基本事業④	教育環境の整備・充実							
施策の トータルコスト	区 分		単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数		本	38 (36)	38 (36)				
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	10 (10)	10 (10)				
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	6 (6)	6 (6)				
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	9 (7)	9 (7)				
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)		本	13 (13)	13 (13)				
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）		千円	507,319	771,697				
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計		千円	98,326	87,346				
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計		千円	13,327	16,309				
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計		千円	129,904	207,891				
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計		千円	265,762	460,151				
C. 施策に携わる正規職員数合計		人	60	60					
D. 事務事業に要する年間総時間		時間	14,940	15,380					
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）		千円	58,610	59,613					
F. トータルコスト（B+E）		千円	565,929	831,310					
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の		円	12,534	19,332				
	G. 事業費（定義式：B/人口）								
	同 上		円	1,448	1,493				
	H. 人件費（定義式：E/人口）								
同 上		円	13,981	20,825					
I. トータルコスト（定義式：F/人口）									
参 考	1時間あたりの平均人件費		円	3,923	3,876				
	魚津市の人口(各年度12月末時点)		人	40,477	39,919				

基本事業概要シート①

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	①確かな学力を育む教育の推進		
基本事業の目的(意図)	英語教育やプログラミング教育を推進するとともに、特別支援スタディメイトの配置等により特別支援教育の充実を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【英語教育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から小学校の英語教科化が導入され、全小中学校に計5名の外国語指導助手を配置し、中学校の英語や小学校での外国語活動の補助を行いました。</li> </ul> <p>【特別支援教育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障害等、特別な支援が必要な児童生徒に対して、にこにこ相談会の実施、スタディメイトの配置等、学習指導上の支援を行いました。また、特別支援教育コーディネーターを配置し、切れ目のない連携支援を実施しました。</li> </ul> <p>【学力向上プラン研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の拠点校2校を中心とした確かな学力の育成のための実践研究と検証改善を推進しました。</li> <li>・中学校2校において、放課後学習をのべ33回行いました。</li> </ul> <p>【小学校教育研究事業、中学校教育研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の指導力向上を目的とした研修会を11回行いました。</li> <li>・「魚津っ子の学び向上委員会」を2回開催しました。</li> </ul> <p>【プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紅ズワイガニロボコン魚津大会を開催し、17チーム21名の参加がありました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
学習の達成状況	%	101.0(小)	98.8	101.2	101.4	101.6	101.8	102.0	103.0
				100.0	98.1				
		93.6(中)	94.4	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
				96.0	99.3				

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	教育環境一般管理費	42,604,000	37,131,637	5,472,363	-	教育総務課	
2	一般会計	○ 英語教育推進事業	26,428,000	26,427,500	500	A	教育総務課	
3	一般会計	○ 特別支援教育推進事業	3,758,000	3,085,889	672,111	A	教育総務課	
4	一般会計	学力向上プラン研究事業	1,834,814	1,676,818	157,996	-	教育総務課	
5	一般会計	教育センター運営費	3,251,000	2,973,043	277,957	-	教育総務課	
6	一般会計	小学校教科用図書給付事業	2,669,000	2,459,740	209,260	-	教育総務課	
7	一般会計	○ 小学校教育研究事業	5,352,500	3,955,128	1,397,372	A	教育総務課	
8	一般会計	中学校教科用図書給付事業	1,566,000	1,449,750	116,250	-	教育総務課	
9	一般会計	○ 中学校教育研究事業	2,460,623	2,154,204	306,419	A	教育総務課	
10	一般会計	○ プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業	6,282,500	6,032,706	249,794	A	教育総務課	
11					0			
12					0			
13					0			
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
28					0			
29					0			
30					0			
合計			96,206,437	87,346,415	8,860,022			

基本事業概要シート②

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	②豊かな心を育む教育の推進		
基本事業の目的(意図)	地域での職場体験によるふるさと教育や、乳幼児とのふれ合いによるいのちの教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成に取り組みます。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【学校司書配置事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の全ての小中学校に学校司書を配置し、図書の整備や児童生徒の読書活動の推進に取り組みました。</li> </ul> <p>【適応指導教室運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適応指導教室「すまいる」において、不登校傾向の児童生徒の学校復帰を支援しました。</li> </ul> <p>【小学校教育研究事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、ふるさと発見バス事業を小学校2学年、4学年、5学年、6学年に実施しました。</li> <li>地域への愛着をもってもらうため、地場産業体験事業を小学校3年生に実施しました。</li> </ul> <p>【情操教育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校においていのちの授業を8回実施しました。</li> <li>いじめ防止対策推進委員会を開催しました。</li> </ul> <p>【社会に学ぶ14歳の挑戦事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内100事業所の協力により実施しました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
不登校児童・生徒の割合	%	1.05(小)	1.15	1.05	1.0	0.9	0.8	0.7	0.5
		4.43(中)	5.39	1.40	2.06				
児童生徒一人当たりの1か月の読書冊数	冊	6.9	7.6	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	2.0
				5.80	8.26				
				7.2	7.6	7.9	8.2	8.5	10.0
				8.4	8.5				

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	子どもの権利推進事業	97,000	68,615	28,385	-	こども課	
2	一般会計	○ 学校司書配置事業	7,853,000	6,964,975	888,025	A	教育総務課	
3	一般会計	○ 適応指導教室運営事業	9,256,000	8,199,099	1,056,901	A	教育総務課	
4	一般会計	○ 情操教育推進事業	456,186	121,000	335,186	A	教育総務課	
5	一般会計	○ 社会に学ぶ14歳の挑戦事業	1,222,000	955,331	266,669	A	教育総務課	
6	予算なし	スクールカウンセラー等配置事業	0	0	0	-	教育総務課	
7	一般会計	○ ふるさと教育推進事業(施策4①再掲)	(7,026,000)	(6,560,740)	(465,260)	A	教育総務課	
8					0			
9					0			
10					0			
11					0			
12					0			
13					0			
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
28					0			
29					0			
30					0			
合計			18,884,186	16,309,020	2,575,166			

基本事業概要シート③

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	③健やかな体を育む教育の推進		
基本事業の目的(意図)	望ましい食生活の習慣が身に付くよう、食育を推進します。また、学校給食での地場産食材の利用拡大を図ります。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【児童・教職員健康診断事業、生徒・教職員健康診断事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒及び教職員の健康診断等を行いました。</li> </ul> <p>【学校給食運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスの取れた、安全でおいしい学校給食を提供しました。</li> <li>・「魚津市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、食物アレルギーを有する児童生徒が、安全・安心に学校生活を送ることができるよう食物アレルギー事故等を防止に取り組みました。</li> </ul> <p>【食育推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に策定した「第2期魚津市食育推進計画」に基づき、関係各課及び各種団体と連携しました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
けがや病気の件数	人	7.2	7.3	6.8 7.1	6.4 7.1	6.1	5.8	5.5	4.0
学校給食の残食率	%	2.5	3.3	3.0 3.9	2.7 4.9	2.2	1.8	1.5	1.0

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	食育推進事業	0	0	0	-	教育総務課
2	一般会計	○ 児童・教職員健康診断事業	8,584,000	7,496,417	1,087,583	A	教育総務課
3	一般会計	○ 生徒・教職員健康診断事業	5,383,000	4,675,631	707,369	A	教育総務課
4	一般会計	○ プール授業外部委託モデル事業	1,870,000	1,468,339	401,661	A	教育総務課
5	一般会計	学校給食配送業務	12,733,920	12,733,920	0	-	学校給食センター
6	一般会計	○ 学校給食運営事業	137,863,165	131,358,424	6,504,741	A	学校給食センター
7	一般会計	学校給食施設維持管理事業	52,865,292	50,158,698	2,706,594	-	学校給食センター
8	予算なし	学校給食ふるさと食材活用事業	0	0	0	-	学校給食センター
9	予算なし	学校給食会計経理事業	0	0	0	-	学校給食センター
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			219,299,377	207,891,429	11,407,948		

基本事業概要シート④

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名	④教育環境の整備・充実		
基本事業の目的(意図)	学校規模適正化を進めるとともに、教育現場の働き方改革推進の視点からも、ICTを含めた教育環境整備に取り組みます。また、関係機関と連携して児童生徒の安全な通学を確保します。		
令和4年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【小中学校教育振興・情報化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校すべての児童生徒に1人1台のICT環境(タブレット)を整備しました。</li> </ul> <p>【教育ネットワーク管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のパソコン及び電子黒板の整備を行いました。</li> </ul> <p>【小中学校維持管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策に必要な保健衛生用品の購入及び備品を整備しました。</li> </ul> <p>【通学安全推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「魚津市小中学校通学安全プラン」に基づき、魚津市通学安全推進会議を開催するとともに、関連事業の推進に努めました。地域住民には「ご近所見守り推進事業」として活動していただくほか、「ながら見守り連携事業」では、28事業所の協力を得ています。また、小学校の遠距離通学を支援するためスクールバスを運行しました。</li> </ul>		

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
ICT機器の活用率	%	55.2(小)	55.2	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100
				86.8	93.5				
		79.2(中)	79.2	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0	100

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和4年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	○ 学校規模適正化事業	352,040,000	181,504,406	170,535,594	A	教育総務課	
2	一般会計	教育委員会の会議及び委員に関する事務	638,000	502,460	135,540	-	教育総務課	
3	一般会計	教育委員会事務局一般管理事業	16,549,000	15,653,091	895,909	-	教育総務課	
4	一般会計	私学等教育振興事業	1,850,000	1,850,000	0	-	教育総務課	
5	一般会計	奨学金貸付事業	7,498,000	5,020,400	2,477,600	-	教育総務課	
6	一般会計	小学校維持管理事業	94,360,000	78,879,474	15,480,526	-	教育総務課	
7	一般会計	中学校維持管理事業	60,072,000	42,389,144	17,682,856	-	教育総務課	
8	一般会計	教育ネットワーク管理事業	25,652,000	25,102,561	549,439	-	教育総務課	
9	一般会計	○ 小学校教育振興・情報化事業	51,555,000	49,548,757	2,006,243	A	教育総務課	
10	一般会計	○ 中学校教育振興・情報化事業	19,824,000	18,551,604	1,272,396	A	教育総務課	
11	一般会計	○ 通学安全推進事業	461,000	383,735	77,265	B	教育総務課	
12	一般会計	小学校遠距離通学援助事業	49,765,000	40,765,393	8,999,607	-	教育総務課	
13	予算なし	就学事務	0	0	0	-	教育総務課	
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
28					0			
29					0			
30					0			
合計			680,264,000	460,151,025	220,112,975			

施策 No.	13	施策名	学校教育の充実
令和4年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>新型コロナウイルス感染症拡大を受け、学校現場においては、感染症対策を施しながらその影響緩和に努めました。</p> <p>【①確かな学力を育む教育の推進】 ◆学習状況については、指標とする県の学力調査において、県平均に対する市平均の割合が、小学校は(R3 100%→R4 98.1%)前年度を下回り、中学校は(R3 96.0%→R4 99.3%)前年度を上回っています。</p> <p>【②豊かな心を育む教育の推進】 ◆不登校の児童生徒の割合が、前年度と比較して小学校は0.66ポイント、中学校は2.46ポイント増加しています。 ◆1か月間に読んだ本の冊数は、前年度と比べて一人当たり0.1冊増加して8.5冊となっています。</p> <p>【③健やかな体を育む教育の推進】 ◆けがや病気の件数については、前年度と変わらず7.1人となっています。 ◆学校給食の残食率については、コロナウイルス感染症の影響により、配膳方法・おかわりの仕方等に変更があり、残食量が多くなったため、前年度と比較して1.0ポイント増加しています。</p> <p>【④教育環境の整備・充実】 ◆小中学校の普通教室の冷房化率は、令和元年6月に100%となっています。</p>		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和4年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①確かな学力を育む教育の推進】 ＜小学校教育研究事業、中学校教育研究事業＞ ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の学力向上部会の活動を継続し、市全体で学力向上への取組を進めました。 ◆特別支援教育推進事業、学習支援員派遣事業 ◆特別支援スタディメイトや学習支援員を配置することにより、多様な学びのニーズに対応しました。 ＜英語教育推進事業＞ ◆全小学校への専任ALT配置により、英語に親しむ活動を行い、言葉の壁を超えるスキル向上を行いました。</p> <p>【②豊かな心を育む教育の推進】 ＜情操教育推進事業＞ ◆いのちの授業の実施により、豊かな心の醸成に努めました。 ＜小学校教育研究事業＞ ◆ふるさと発見バス事業や地場産業体験事業の実施により、地域を学ぶ学習を実現しました。 ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の心の教育推進部会の活動を継続し、「ふるさと教育スタンダードプラン」の内容の見直し・改善を進めました。 ＜学校司書配置事業＞ ◆学校司書の配置による図書の整理や読書環境の充実により、児童生徒が書物に触れ合う機会が増え、授業の調べ学習も充実しました。 ◆適応指導教室運営事業 ◆市SSWを配置することにより家庭における生活環境の改善も含めた不登校対策に努めました。</p> <p>【③健やかな体を育む教育の推進】 ＜食育推進事業＞ ◆地場産食材の利用拡大のため、生産者及び関係機関と食材調達の調整を行い、地元の新鮮な食材を多く使用した献立を工夫しました。</p> <p>【④教育環境の整備・充実】 ＜小中学校情報化事業・教育ネットワーク管理事業＞ ◆児童生徒へタブレット端末を配付し、電子黒板等のICT機器を活用した学習を推進することにより、個別最適化された学習環境を提供しました。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①確かな学力を育む教育の推進】 ◆「魚津っ子の学び向上委員会」の取組を推進し、市全体で学力向上の取組を進めます。 ◆個に応じた学習支援の充実のため、学習支援員やスタディメイト等の各種支援員の適切な配置に努めます。 ◆ALTを活用し、英語教育の推進に取り組めます。</p> <p>【②豊かな心を育む教育の推進】 ◆令和2年度から全面実施された「魚津市ふるさと教育スタンダードプラン」に基づき、関係機関と連携してふるさと教育の推進に取り組めます。 ◆学校、関係機関と連携した指導により、学校復帰や一時登校など改善傾向に向かう児童生徒がいる一方で、不登校傾向の児童生徒が増える傾向にあります。市SSW、市SCが中心となった、早期からの関係機関との組織的な取組により、当該児童生徒への専門的な指導・相談ができるようになります。また、生徒指導協議会と連携し、WEBQU(よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)の活用・分析を進め、子どもの居場所づくり、不登校児童生徒の早期発見・早期対応を目指します。さらに、発達障害等特別な支援を要する児童生徒に対する情報交換を密にし、切れ目のない支援体制づくりに努めます。 ◆学校図書館のIT化を実施し、調べ学習などで児童生徒が利用しやすい環境を実現します。</p> <p>【③健やかな体を育む教育の推進】 ◆現在の「第2期食育推進計画」を見直し、令和6年度からを計画期間とした「第3期食育推進計画」を策定し、関係機関と連携を図りながら、食育の推進に取り組めます。</p> <p>【④教育環境の整備・充実】 ◆「小中学校就学援助事業」については、家庭の経済的な理由によらず等しく教育を受けることができるよう支援を行います。加えて、「子どもの貧困」や「ヤングケアラー」の問題については、関係各課、関係機関と連携し、早期に発見し支援につなげられるよう努めます。 ◆魚津市小中学校通学安全プランに基づき、通学路の安全点検を実施するなど、児童生徒の登下校の安全確保に取り組めます。 ◆「魚津っ子の学び向上委員会」が中心となりICT機器を活用した授業づくりに関する研修の充実にも努めます。 ◆児童生徒への効果的な教育活動の充実に向けて、市内小中学校の教職員の勤務実態の把握や部活動の地域移行について研究し、学校職場における働き方改革を進めます。 ◆地域に開かれたコミュニティスクール制度の導入に向けて関係各所と調整を行い、地域での次世代育成の仕組み作りにも努めます。 ◆急激に進む少子化に対応する教育のあり方について研究し、住民同士の意見交換会を開催し、教育に対する関心を高めます。</p>			